

林業労働者数

● 京都府／林業労働力実態調査（京都府林業振興課）

昭和 45 年
3,323 人 (男性 2,770 人、女性 553 人)

▶ 令和 3 年
430 人 (男性 421 人、女性 9 人)

● 全国／国勢調査（総務省）

昭和 55 年
146,322 人 (男性 122,208 人、女性 24,114 人)

▶ 平成 27 年
45,440 人 (男性 42,690 人、女性 2,750 人)



1 m³あたりの年平均木材価格

昭和 55 年
ヒノキ 7.64 万円、スギ 3.96 万円、まつ 2.87 万円

▼ 平均 60%下落

令和 3 年
ヒノキ 2.59 万円、スギ 1.61 万円、まつ 1.38 万円

※ 農林水産統計木材価格（農林水産省大臣官房統計部）



森林とわたしたち

森林の持つ 役割と働き

● 文化機能

景観や学習・教育、地域の多様性維持などに資する機能

● 保健・レクリエーション機能

休息・リフレッシュ、行楽などのレクリエーション機能

● 水源涵養機能

雨水が土中にゆっくり浸透することで、川への急激な流出を緩和するとともに、水を浄化する機能

● 快適環境形成機能

夏の気温低下や大気浄化などによる快適環境を形成

● 物質生産機能

木材の生産やキノコ等の林産物、工芸材料の産出

● 土砂災害防止機能・ 土壌保全機能

洪水緩和、水量調節、水質浄化、土砂災害防止

● 生物多様性保全

動物のすみ家や植物の保全、河川の生態系保全

● 地球環境保全

地球温暖化の緩和（二酸化炭素吸収、代替エネルギー）、地球気候システムの安定化

75.2%

この数字は、与謝野町の面積における森林が占める割合*です。

日本の国土の約 70%、また、与謝野町の面積の約 75% を占める森林ですが、森林の持つ役割と働きをご存じですか？ 森林は水源涵養、地球環境や生物多様性の保全など、わたしたちの生活と密接にかかわりさまざまな恩恵をもたらしています。近年では、激甚化する災害予防に対する役割、さらに、日本の二酸化炭素吸収量のうち 9 割以上は森林が吸収しているとされていることから、温室効果ガスを削減する地球温暖化対策など、森林に対する注目は高くなっています。

このように多面的な機能を有する森林は、わたしたちの生活と深く結びついているものとなっています。しかし、輸入木材の流入による木材価格の下落、林業従事者の高齢化や担い手不足など、さまざまな要因により林業生産活動が停滞し、森林を取り巻く環境は厳しい方向へ進んでいます。今月号では、森林の持つ役割と働き、また今後どのように森林を守っていくのかを紹介します。

※ 令和 3 年度与謝野町統計書

問 地球温暖化対策室（農林環境課内） ☎ 43-9023